

■横河民輔 建築家・実業家。日本の鉄骨建築を先駆し、震災復興に貢献。横河グループ創業者。

よこがわたみすけ

禁門の変・・・1864＝ 播磨国加古郡二見村で、地方医療の発展に尽くした蘭方医横河秋濤の三男に生まれる。

明治維新・・・1868＝ 4歳：

明治6年政変 1873＝ 9歳：

明治14年政変1881＝17歳：

新体詩抄・・・1882＝18歳：_工部大学校に入学，

内閣発足・・・1885＝22歳：_工部大学校が改称された帝国大学工科大学の造家学科で建築学を学び，

帝国憲法発布1889＝25歳：

帝国議会始・・・1890＝26歳：

足尾鉍毒始・・・1891＝27歳：

大本教・・・1892＝28歳：

郡司千島探検1893＝29歳：

日清戦争始・・・1894＝30歳：

日清戦争終・・・1895＝31歳：

白馬会・・・1896＝32歳：

ピアノ国産化・・・1900＝36歳：

教科書疑獄・・・1902＝38歳：

日比谷公園・・・1903＝39歳：

日露戦争終・・・1905＝41歳：

満鉄発足・・・1906＝42歳：

韓国反日暴動1907＝43歳：

アヲキ創刊・・・1908＝44歳：

伊藤博文暗殺1909＝45歳：

大逆事件判決1911＝47歳：

明治天皇没・・・1912＝48歳：

第一次大戦始1914＝50歳：

21ヶ条要求・・・1915＝51歳：

民本主義・・・1916＝52歳：

ロシア革命・・・1917＝53歳：

本格政党内閣1918＝54歳：

ベルサイユ条約・・・1919＝55歳：

大暴落・・・1920＝56歳：

原敬首相暗殺1921＝57歳：

水平社結成・・・1922＝58歳：

関東大震災・・・1923＝59歳：

護憲三派圧勝1924＝60歳：

治安維持法・・・1925＝61歳：

金融恐慌・・・1927＝63歳：

共産党事件・・・1928＝64歳：

世界恐慌・・・1929＝65歳：

満州事変・・・1931＝67歳：

帝人疑獄事件1934＝70歳：

二二六事件・・・1936＝72歳：

日中戦争始・・・1937＝73歳：

日米開戦・・・1941＝77歳：

創価学会検挙1943＝79歳：

敗戦・・・1945＝81歳：

敗戦・・・1945＝81歳：

敗戦・・・1945＝81歳：

敗戦・・・1945＝81歳：

敗戦・・・1945＝81歳：

敗戦・・・1945＝81歳：

敗戦・・・1945＝81歳：

敗戦・・・1945＝81歳：

卒業設計では東京の町屋を取り上げ、論文で町屋の生活改善と建物の耐震耐火性の向上をテーマとして、卒業。先輩らが安定した公務員等を志向するなか、日本橋に建築設計事務所を開設。

*濃尾大地震が起きると、下町の二階建ての土蔵造や煉瓦造をどうしたら簡便に耐震化できるかを考え、わずか1カ月で、著書「地震」を書き上げて、刊行。

東京法学院改築を監督。_それが、益田孝の目にとまって、三井元方囑託に招かれ、女子教育家として著名な棚橋純子の次女と結婚。帝大同期の宗兵蔵設計の{久松座(旧明治座)}を監督。

_技師長格で三井財閥の三井元方に入社，部下に鈴木楨次がつく。_三井総営業本店の設計を開始，三井系の企業の諸建築の設計をしながら，

_施工の実際の指導から材料の発注まで一人でこなして，竣工させ，“鉄の建築家”として名が轟くと，

*独立して，{横河工務所(横河建築設計事務所)}を開設。起業家としての道を歩み始め，喜怒哀楽を決して表に表さない寡黙の人といわれ，_事業に忙しく，実際の設計はスタッフにまかせ，

大阪支店開設。「第一生命保険相互会社」。_東京帝国大学工科大学建築学科で鉄骨構造の講義も担当し，国會議事堂建設についての委員も務める。

この年，身体が不自由になっていた石井敬吉を鉄骨構造に造詣が深い構造エンジニアとして入所させる。_鉄骨橋梁部門を{横河橋梁製作所(横河ブリッジ)}として分離独立。

旧「有楽座」。

大熊喜邦や葛野壮一郎らの基本設計による「帝国劇場」。_請われて，建設業協会理事長に就任。のちに会長となるが，自身は今日のゼネコンの体制である設計と施工の一式請負というスタイルを否定し，この社会から消滅することを望んでいるとまで述べている。

翌年にかけて「三井2号および3号館」。

*{電気計器研究所}を株式会社化し，{横河電機製作所}と改称，現在なお先端機器製造業のトップの一つとなっている。

「三井総営業本店が大地震を耐え抜いたことで，設計の考え方の正しさが証明される。

「千代田生命本店」。

以後3年，社団法人日本建築学会会長を務める。

「平和不動産日証館」。

松井貴太郎設計による「三信ビルディング」。「交詢ビルディング」。

_中国古陶磁器の収集でも知られ，それらを国立博物館に寄贈，

「工政会出版部より名品図録「販香譜」が刊行されるなど，{横河コレクション}として著名である。

「日本電報通信社(電通)社屋」。